

事例 26 架線集材技術の普及指導に向けた研修

(森林技術総合研修所)



- 群馬県沼田市(ぬまたし)利根町(とねまち)
- (左) 集材機運転の実習

(右) 搬器等について説明している様子

急傾斜地における立木の伐採・搬出に当たっては、林地保全に配慮して架線系の作業システムが導入されていますが、近年、架線集材に関する技術や経験を有した林業事業者が減少していることが課題となっています。

森林技術総合研修所では、架線集材の技術を普及指導できる者を育成するため、令和4年度に、地方公共団体や森林管理局・署等の職員を対象として、架線の架設・撤去の作業手順、集材機の運転操作等についての研修を実施しました。

研修では、架線集材の基礎知識等について講義を実施するとともに、実習林において実際に架線の架設・集材・撤去作業を行いました。また、研修生に作業の指揮等にも取り組んでもらい、研修生同士で相談したり、教え合ったりすることにより、現場での普及指導能力の向上を図りました。